



食環協

2024. 10. 31

ニュース145

地域と連携し持続可能な社会を目指す



会長就任のあいさつ

公益社団法人食品容器環境美化協会 会長 田中美代子

5月の総会で、公益社団法人食品容器環境美化協会の会長に就任いたしました田中美代子です。当協会は、約50年にわたり飲料容器の適正な処理とリサイクルの推進を目指して環境教育および地域社会との連携、環境美化に取り組んでまいりました。私たちが目指すのは、清潔で美しいまちづくりと、持続可能な社会の実現です。

今後も、「のんだあとはリサイクル」マークの普及活動をさらに強化し、市民や企業との連携を深めていく所存です。また、アダプト・プログラムを通じた地域貢献活動や、環境教育支援にも力を入れ、次世代の意識醸成にも努めてまいります。

飲料提供に不可欠な包装容器を取り巻く社会環境も大きく変わっています。廃棄物の散乱解消から資源の効率利用といった大きな流れです。新たな課題に対しても柔軟に対応し、業界の垣根を越えた連携を強化することで、より効果的な取り組みを進めていきたいと考えています。

約50年の当協会の歴史で初めての女性の会長となります。先人が築かれた食環協の歴史と成果をより素晴らしいものにしていくため、皆様から今まで以上のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。共に手を携えて、美しい未来を築いていきましょう。

アダプト・プログラム記念日登録証授与式を行いました

アダプト・プログラムのさらなる普及を目指します

当協会の設定した「アダプト・プログラム記念日」の記念日登録証授与式を、6月3日に東京・中央区のTKP東京駅カンファレンスセンターで行いました。この記念日は、国内で初めてとなる「第1回アダプト・プログラム制度研究会」の開催日1997年9月29日に由来しています。

日本記念日協会の加瀬清志代表理事から田中会長に「アダプト・プログラム記念日」の登録証が授与されました。田中会長は、「日本のペットボトルや飲料缶の回収率は高いが、さらに環境美化を進めるため、9月29日の記念日を契機として、より多くの人に『アダプト・プログラム』のことを知ってもらいたい」と述べ、環境美化運動のさらなる普及を目指す重要な一歩となりました。

【目次】

- 新会長あいさつ P 1
- 2024年度アダプト・プログラム助成団体 P 2～6
- 2023年度アダプト助成制度対象団体紹介 P 7～8
- アダプト・プログラム記念日、World Cleanup Day 2024、こども環境学会 P 9
- 地方連絡会議・ブロック会議・活動 P 10～11

アダプト・プログラムの普及状況



2024年3月現在、アンケート調査、自治体ホームページ等をもとに当協会が把握しているプログラム数、活動団体数、活動者数は以下のとおりです。

- ・実施自治体数： 517自治体
- ・アダプト・プログラム数： 約703プログラム（*注）
- ・参加団体数： 約58,000団体
- ・活動者数： 約240万人

（*注）プログラム数：各自治体におけるアダプト・プログラムの制度の数。1自治体で道路のプログラム、河川のプログラムなど、複数の制度・仕組みを有する例があります。

2024年度アダプト・プログラム助成団体が決定しました

公益社団法人食品容器環境美化協会は、飲料メーカー6団体で構成される公益法人で、飲料容器の散乱対策を中心とした環境美化の推進を事業目的とし、その一環として市民と行政の協働によるまち美化手法である「アダプト・プログラム」情報センターとして、その普及・推進に取り組んでいます。

海洋ごみ問題が喫緊の課題となり、海洋ごみの約8割が陸域由来ともいわれる中、海岸・海浜、河川流域だけでなく、道路、公園、緑地等すべての場所で行われるアダプト活動が、この問題に対して広く国民参加を進める際の一つの有効なツールとなり得ると考えられており、政府の「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」（2019年5月31日）においても、対策の一つとして取り上げられ、その重要性が改めて認識されつつあります。

このような状況の中、活動をさらに充実・拡大しようとする団体、あるいはアダプト・プログラムへの新規参加を予定する団体等を助成・支援することにより、アダプト・プログラム活動の一層の奨励を行うとともに、その普及推進を図ることを目的として、アダプト・プログラム助成制度を実施しています。

本年度は助成金コースと清掃グッズコースの2コースを設定しましたが、助成金コースは215、清掃グッズコースは79の活動団体から申請をいただきました。

応募団体の皆様からの申請書をもとに、審査委員会において慎重に審査致しましたところ、助成金コース30団体、清掃グッズコース35団体を助成対象と決定しました。

この助成を通じアダプト活動の輪が一層広がり、地域の環境美化につながることを期待しています。

■ 2024年度 申請団体数および助成団体数

	助成金コース	清掃グッズコース	合計
申請団体数	215 団体	79 団体	294 団体
助成団体数	30 団体	35 団体	65 団体
助成金額/セット数	2,502,490 円	167 セット	4,865,087 円 (相当)



2024年度 アダプト・プログラム助成制度【概要】

■助成の対象となる団体

1. 次のいずれかの団体であること
 - ① 各自治体が導入しているアダプト・プログラム制度に登録している団体で、アダプト活動をさらに充実、拡大しようとする団体
 - ② 各自治体が導入しているアダプト・プログラム制度に新たに参加しようとする団体
2. 本助成制度が設けられている趣旨に賛同するとともに、飲料団体から構成されている食品容器環境美化協会の活動であることを十分認識していること
3. 過去2年間（2022年度、2023年度）に当協会の助成を受けていないこと

■助成内容

(1) 助成金コース

- ・下限額を3万円、上限額を10万円とします。
- ・アダプト・プログラム活動のうち、清掃活動およびポイ捨て防止・啓発活動に必要な諸費用を助成対象とします。それ以外の活動に使用する項目は助成の対象となりません。

(2) 清掃グッズコース

- ・ビブス、トングを助成します。
- ・5人分（ビブス5着、トング5本）で1セットとし、セット単位での助成となります。団体の登録者または10セットを上限とします。



ビブス
(サイド紐タイプ、フリーサイズ/着丈63cm×身丈50cm)



トング(サイズ 長さ30cm×幅2.3cm)

*詳細につきましては、当協会ホームページをご覧ください。

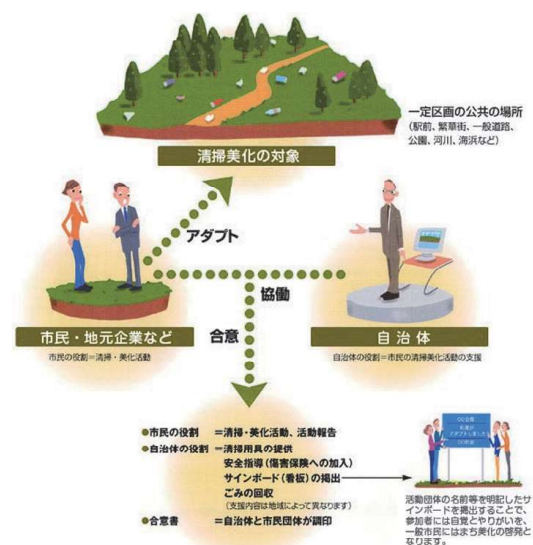
アダプト・プログラムとは

「アダプト・プログラム」は市民と行政が協働で進める「まち美化プログラム」です。

アダプト (ADOPT) とは英語で「〇〇を養子にする」の意味。

一定区画の公共の場所を養子にみため、市民がわが子のように愛情をもって面倒をみ（＝清掃美化を行い）、行政がこれを支援します。市民と行政が互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで美化を進めます。

現在では全都道府県の各地で導入され、多くのアダプト団体が様々な活動をされています。



助成団体一覧

【助成金コース】30団体

- **AI TOWN天辰ひと・まち連携事務局**
天辰地区スマートタウン緑道維持管理／鹿児島県薩摩川内市建設部都市整備課
- **開拓自治会**
さわやかマイタウンSAGA／佐賀県佐賀市環境保全課 環境パトロール係
- **九州国際大学**
北九州市道路サポーター制度／福岡県北九州市都市整備局道路部道路計画課
- **町田市老人クラブ けやき会**
町田市アダプト・ア・ロード事業／東京都町田市道路管理課
- **湯野浜の海に親しむ会**
山形県ふるさとの川愛護活動支援事業／山形県庄内総合支庁建設部河川砂防課
- **リバーサイドボランティア(RSB)**
豊川アダプト制度／国土交通省中部地方整備局豊川河川事務所
- **釧路キレイな街応援隊**
釧路市クリーンパートナー制度／北海道釧路市市民環境部環境事業課
- **NPO法人 やくわり**
しずおかアダプトロードプログラム／静岡県交通基盤部袋井土木事務所維持管理課
- **NPO法人 新 磯子区障害者地域活動ホーム**
横浜市ハマロード・サポーター／神奈川県横浜市道路局道路部管理課
- **御山長滝町内会**
ふくしまきれいにし隊／福島県福島市環境課
- **蘇刈集落会**
みんなの水辺サポート推進事業／鹿児島県大島支庁瀬戸内事務所総務課
- **花富集落会**
みんなの水辺サポート推進事業／鹿児島県大島支庁瀬戸内事務所総務課
- **デュオセーヌつくばみらいガーデニングサークル**
つくばみらい市公共施設里親制度／茨城県つくばみらい市市民経済部生活環境課
- **広岡地区流域環境保全の会**
徳島県OURリバーアダプト事業／徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>
- **公益社団法人 岐阜市シルバー人材センター**
岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまちそだて隊”／岐阜県岐阜市市民活動交流センター
- **おかん防災実行委員会**
アダプト・リバー・古川クリーンアップミーティング／大阪府寝屋川水系改修工営所維持管理課
- **特定非営利活動法人さんわーくかぐや**
美化ネットふじさわ／神奈川県藤沢市市民自治部市民自治推進課
- **諏訪湖温泉旅館組合**
河川愛護活動(諏訪湖)／長野県諏訪市建設課
- **社会福祉法人 仙台はげみの会 国見はげみホーム**
仙台まち美化サポート・プログラム／宮城県仙台市環境局家庭ごみ減量課
- **内川を美しくする会**
山形県ふるさとの川愛護活動支援事業／山形県建設部河川砂防課
- **上田市踏入自治会**
上田市アダプト・プログラム／長野県上田市都市整備部都市計画課
- **チーム水縹**
「川の国応援団」制度／埼玉県環境部水環境課
- **一般社団法人 京都府北部地域連携 都市圏振興社 京丹後地域本部 大宮町支部**
さわやかボランティアロード制度／京都府丹後土木事務所施設保全課
- **衣笠商店街振興組合**
まちかど里親制度／神奈川県横須賀市地域支援部地域コミュニティ支援課

■吹上清流の会

「川の国応援団」制度／埼玉県環境部水環境課

■mmp

稲沢市公共施設アダプトプログラム／愛知県稲沢市用地管理課

■K・Kクリーン

こうなん美化ボランティア／愛知県江南市企画課

■ひろい隊

公共エリア環境づくり事業／福津市うみがめ課

■多機能型事業所コトノハ

倉敷市アダプト・プログラム／岡山県倉敷市市民活動推進課

■里山を守る会

公共施設の里親制度／茨城県取手市建設部管理課

【清掃グッズコース】35団体

■株式会社タムラ製作所 坂戸事業所

鶴ヶ島市道路・水辺のサポート制度／埼玉県鶴ヶ島市道路建設課

■株式会社坂本工務店

小松島市土木施設アダプト事業／徳島県小松島市都市整備課

■明治油脂株式会社

枚方市アダプト・プログラム／大阪府枚方市環境部環境事業課

■いきいきナイン

精華町クリーンパートナー／京都府精華町建設課

■株式会社サナ

所沢市アダプト・プログラム／埼玉県所沢市市民活動支援センター（道路維持課）

■清風会

広島県アダプト制度／広島県西部建設事務所

■有限会社かがみ建設

ロードボランティア／高知県中央東土木事務所

■NTTファイナンス株式会社 北海道総合料金センター

北区アダプト・プログラム／北海道札幌市北区地域振興課

■株式会社愛知工務店

大府市アダプト・プログラム／愛知県大府市市民協働部協働推進課

■株式会社ヤマウラ 長野支店

信州ふるさと道ふれあい事業／長野県長野建設事務所維持管理課

■石橋建設興業株式会社

矢作川アダプト制度／国土交通省中部地方整備局豊川河川事務所

■株式会社中村土木建設

愛・道路パートナーシップ事業／愛知県知多建設事務所

■株式会社オームラ組

愛・道路パートナーシップ事業／愛知県知多建設事務所

■こまつばら美化隊

座間市公園・広場等アダプト制度／神奈川県座間市公園緑政課

■5のつく日桜が丘一丁目公園ボランティア

精華町クリーンパートナー／京都府精華町事業部建設課

■水と大地と空気の会

浜松市道路・河川里親制度／静岡県浜松市土木部道路保全課
天浜線沿線アダプト・プログラム制度／公益財団法人静岡県西部しんぎん地域振興財団

■なんこうだい・きれいにし隊

ふくしまきれいにし隊／福島県福島市環境部環境課

■株式会社須南電設

ふくしまきれいにし隊／福島県福島市環境課

助成団体一覧

- **株式会社アイチコーポレーション 北日本支店 北海道**
西区アダプトプログラム／北海道札幌市西区市民部地域振興課
- **NPO法人きゃべつくらぶ**
きれいなまちづくり推進事業／静岡県裾野市自治振興課
- **千代田工業 労働組合**
豊明市公共施設アダプトプログラム／愛知県豊明市土木課
大府市公共施設養子縁組制度／愛知県大府市市民協働部・協働推進課
- **三重中央開発株式会社**
木津川市アダプト・プログラム／京都府木津川市市民環境部環境課
- **R136草取り隊**
しずおかアダプトロード・プログラム／静岡県三島市土木課
- **NPO法人 Happyリレーいろいろ**
公園サポーター制度／茨城県土木部都市整備課
- **株式会社キャタラー**
しずおかアダプトロード・プログラム／静岡県袋井土木事務所維持管理課
- **富が原環境美化整備委員会**
信州ふるさとの道ふれあい事業／長野県長野建設事務所
- **すみちゃんチーム**
公共施設の里親制度／茨城県取手市市民協働課
- **秋田プライウッド株式会社**
船川港湾地区アダプト・ロード・プログラム／秋田県船川港湾事務所
- **芦野5丁目のぞみ町内会**
公園里親制度／北海道釧路市都市整備部公園緑地課
- **柳沢区**
河川愛護活動／長野県原村建設水道課
- **エクシードシニアクラブ**
秦野市道路美化ボランティア（道路等アダプト・プログラム）／神奈川県秦野市建設総務課
- **よなだ防衛隊（下米田地区まちづくり協議会）**
美濃加茂市クリーンパートナー制度／岐阜県美濃加茂市建設水道部土木課
- **One Peace Circle**
環境美化活動／埼玉県川口市収集業務課
- **有限会社一電設**
県民参加の地域づくり事業／長崎県土木部河川課
- **社会福祉法人 ほかにわ共和国デイ雲柿の木**
県民参加の地域づくり事業／長崎県島原振興局管理課



繰り返し使えるゴミ袋



【2023年度アダプト助成制度対象団体紹介】

ご参考に昨年度の助成団体の活動を紹介します。

エイトクラブ【助成金コース】

町田市公益的活動団体アダプト・プログラム／町田市 都市づくり部 公園緑地課

【活動紹介】

- 公園清掃活動（ごみ収集、枯れ枝集積、落ち葉拾い、掃き掃除、草刈 等）
- 公園内花壇活動（苗の植え付け）
- 保育園児との花摘み
- 小学生との合同清掃

当クラブの清掃活動は月に15～20回で、10年目となっており活動経過と共にゴミの発生量は減少傾向にあります。

小学生との共同清掃実施後は特にその傾向が強く表れていると感じられます。

高齢化が進む中、暑さ・寒さにめげず町田市公園緑地課の協力を受けながらメンバー全員でこの清掃活動を実施したいです。



ふるさとの川・荒川づくり協議会【助成金コース】

ふくしまきれいにし隊／福島市 環境部 環境課

【活動紹介】

福島市を流れる荒川は12年連続で水質が日本一良好な河川であり、流域の自然環境や水環境、文化遺産などの地域資源が豊富な河川です。

当協議会では、荒川クリーンアップ大作戦、河川浄化作用、水質・植物調査、外来植生調査、高校生らのボランティア活動支援や広報イベント等を実施し、きれいな荒川、身近な水環境を守る環境保全活動につなげています。

特に荒川クリーンアップ大作戦は地域の企業、団体、国土交通省や県・市の行政機関、地域住民に協力していただいている活動で、毎年約600人が参加しています。



株式会社ドライビングサービス【清掃グッズコース】

岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”／岐阜市市民協働推進部 市民活動交流センター

【活動紹介】

- 道路の側溝・用水路・歩道 等のゴミ拾い、粗大ゴミの処理
- 活動を通じた参加者のゴミへの意識改善
- 地元地域住民への宣伝

食環協から助成されたビブスが目立つため、幹線道路を通る車から大いに注目されます。

また社員から、会議などで何人か集まった際には『今日はゴミ拾いやろうよ！』と積極的な声が出たり、数人がゴミ袋を持って拾っていました。

毎回参加している従業員の意識が向上し、活動していない時でも率先してゴミを拾ったり、何人か集まったら『今日は活動しないのか？』と声が出るようになりました。

活動範囲も現在は広げていますが、今後もう少し上げ回数を増やして実施したいです。



株式会社マイクロ発條【清掃グッズコース】

諏訪湖アダプト・プログラム／長野県 諏訪建設事務所

【活動紹介】

社内でCSRマネジメントシステムを運用し推進する組織として「CSR委員会」を立ち上げ活動しています。

諏訪湖沿岸エリアのゴミ拾い（可燃物・プラスチックごみ・缶・ビン・ペットボトル等の回収作業）、除草等の作業を、社員及び社員の家族参画にて行い、CSR推進のため活動を広げています。



トピックス

アダプト・プログラム記念日 クリーンアップキャンペーンを開催しました

記念日の登録を踏まえ、アダプト・プログラムの一層の普及を図るため、ごみ対策スタートアップである（株）ピリカと連携し、SNSを活用したクリーンアップキャンペーンを実施しました。

<開催日時> 2024年9月14日（土）～2024年10月14日（月・祝）

<参加方法> 1、SNSピリカをダウンロード

2、SNSピリカ内イベントページにて参加ボタンをクリック

3、期間中にごみ拾いをして、SNSピリカに投稿！

アダプト・プログラム記念日（9/29）時点での状況

参加アカウント数：366アカウント

累計参加人数：2,901人

拾われたごみ（個）：705,506個

拾われたごみ（L）：44,094L



トピックス

World Cleanup Day 2024に参加しました

世界中で一斉に地球をキレイにする運動であるWorld Cleanup Day 2024に参加しました。World Cleanup Dayは2008年にエストニアで行われた市民運動が2018年に世界で一斉に地球をキレイにしようというムーブメントに広がったグローバルイベントで、2023年12月に国連総会で承認され9月20日がWorld Cleanup Dayとして国連カレンダーに登録されたものです。

<開催日> 2024年9月20日（金）

<清掃区域> 東京都港区芝地区（食環協事務所から東京タワーまでの間で、飲料容器を回収）

また、World Cleanup Day Japanの配信イベントで、協会紹介動画の配信をおこないました。



WCD回収容器

トピックス

子ども環境学会20周年記念全国大会（東京）で「環境美化教育優良校表彰事業における優良校による地域貢献事例の分析」をポスター発表しました

協会が主催する「環境美化教育優良校等表彰事業」での受賞校の地域貢献活動を分析し、子どもたちへの影響を評価した結果を報告しました。受賞校の活動は、資源循環等の社会的活動、学校周辺の身近な活動、地域資源の学習活動等に類型化されるものの、総じて社会持続性の観点に基づき、地域からの感謝を経て自己有用感の醸成につながっていることを報告しました。



地方連絡会議・ブロック会議の開催

2024年度の重点テーマである「地域と連携し持続可能な社会を目指す」に基づき、地方連絡会議間・事務局との連携強化による情報共有・意思疎通の推進、事業の理解、地方連絡会議活動活性化のため、7月に「ブロック会議」を開催しました。

3ブロックで開催された会議当日は、地方連絡会議、企画委員、運営委員、会員団体、事務局が参加し、議論を深めました。

1. 開催スケジュール

	開催日	開催地
中国・四国・九州・沖縄ブロック	7月2日	TKP ガーデンシティ博多新幹線口
東海・北陸・近畿・中国・四国ブロック	7月17日	TKP 新大阪駅前カンファレンスセンター
北海道・東北・関東甲信越ブロック	7月30日	TKP 東京駅カンファレンスセンター

2. 議題

(1) 食環協・会員団体報告

「食環協の概要・活動」を佐藤事務局長から報告した後、全国清涼飲料連合会的那須専務理事、ビール酒造組合の水谷審議役・金井審議役・伊藤審議役、トマト工業会の小後摩専務理事、宮田業務部長より、各業界の環境に対する取り組みについて講演を頂きました。



(2) 環境美化教育最優秀校の取り組み

鹿児島市立西伊敷小学校 山田義輝先生（7月2日）、舞鶴市立大浦小学校 学校長鎌野高信先生（7月17日）、大仙市立大曲南中学校 学校長島田智先生（7月30日）より、環境美化教育優良校の取り組みについて講演を頂きました。



(3) ワークショップ

「地連内・地連間の連携を考える」をテーマとして、会議参加者・Web参加者をそれぞれグループ分けし、ワークショップを開催しました。



北海道地連「ごみゼロの日(5月30日)」における廃棄物不法投棄防止・空き缶等ポイ捨て防止に係る街頭啓発に参加しました

「ごみゼロの日(5/30)」は、「環境の日(6/5)」や「世界海洋デー(6/8)」と並び、環境保全に関する重要な記念日です。北海道では、平成28年度から「ごみゼロの日」に関係機関と連携して街頭啓発を実施しています。

今年度は5年ぶりに札幌駅にて実施した街頭啓発に、食品容器環境美化協会を代表して北海道地連・鈴木大介氏(北海道コカ・コーラボトリング株式会社)が参加しました。



- 日時：2024年5月30日
- 場所：JR札幌駅 東・西コンコース、南口広場
- 主催：北海道

静岡地連「三保真崎海岸清掃活動」に参加しました

静岡市環境保全推進協力会主催の海岸清掃活動に、食品容器環境美化協会から代表して静岡地連・高山英之氏(静岡ミツウロコフーズ株式会社)が参加、清掃活動を行いました。



- 日時：2024年6月1日
- 場所：三保真崎海岸
- 主催：静岡市環境保全推進協力会

兵庫地連「『クリーンアップひょうごキャンペーン』キックオフイベント」に参加しました

クリーンアップひょうごキャンペーンのスタートに合わせた、ごみ減量やリサイクルなど、各人の行動変容が広がっていくことを目指したイベントです。キックオフイベントとして開催したごみ清掃活動に、食品容器環境美化協会から代表して兵庫地連・山名裕之氏(ダイドードリンク株式会社)、同・山本昌洋氏(コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社)が参加しました。

クリーンアップひょうごキャンペーンには物品協賛も行っています。



- 日時：2024年6月7日
- 場所：加古川河川敷緑地付近
- 主催：兵庫県、
公益財団法人ひょうご環境創造協会、
株式会社フィッシングマックス、
株式会社神戸マツダ、Rethink PROJECT

私たち「食環協」が、アダプト・プログラムをサポートしています

食環協(食品容器環境美化協会)は、「環境美化」を目的に、全国の飲料メーカー団体が組織した公益社団法人です。設立は1973年。設立以来、「ポイ捨て防止」キャンペーンをはじめとする多面的なPR活動を展開しています。また、「日本版アダプト・プログラム」の情報センターとして、積極的な調査・研究・普及活動を進めています。

「統一美化マーク」をここに掲げて…

「のんだあとはリサイクル」

あちらこちらでお目にかかるこのマーク、じつは「統一美化マーク」と呼ばれています。1981(昭和56年)以来、食環協から消費者のみならず企業へのメッセージとして、新聞・テレビ広告、自動販売機、道路沿いの立看板、のぼり、横断幕などに登場しています。



「ポイ捨て防止」の啓発キャンペーン

統一美化マーク(上記)のもと、各種媒体やメディアを通じて、散乱防止の啓発に努めています。これまで駅や社内のポスター・ステッカー、道路沿いの立看板、ポスターの掲出、バスラッピング広告など、時々の情勢に応じた方法で、散乱防止を呼びかけています。



ポイ捨て防止の啓発ポスター

環境教育支援

環境美化教育優良校等の表彰

学校での環境美化教育を応援していくため、毎年、環境美化の教育と実践に熱心に取り組んでいる全国の小中学校を表彰しています。



表彰式

児童向け環境学習サイト「まち美化キッズ」の提供

「なぜまちをきれいにするの?」「どうしてポイ捨てしてはいけないの?」ということをお子たちに考えてもらえるよう問題提起型の内容になっています。また、教育現場に即したツールを意識し、効率よく学習できる要素を盛り込み、様々な授業展開が可能となるように努めました。



まち美化キッズ

検索

先生向け学習ガイドの提供

環境教育の重要性が増す中、環境美化教育が圧縮される傾向に対応し、コンパクトに授業が実施できるよう現場教師の意見を反映する工夫を入れました。また、「まち美化キッズ」教材と連動して、授業が展開できるよう、学校教師の指導書として制作し、2022年3月改訂しました。



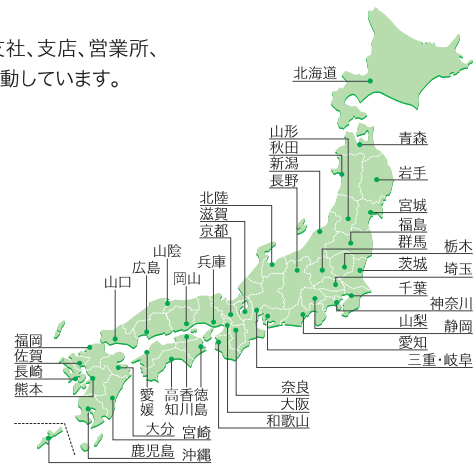
全国をカバーする拠点網「地方連絡会議」が地域に密着して活動

地方連絡会議は、県単位(もしくは同じエリアの複数県)で、その地域に拠点(支社、支店、営業所、工場など)のある飲料メーカーで構成し、全国各地で42の「地方連絡会議」が活動しています。

地方連絡会議は、学校表彰事業や地方における環境イベントなどについて、地方公共団体、市民団体、報道機関などへ連絡・調整を行っています。

食環協を構成する飲料メーカー6団体

- | | |
|-----------------|------------|
| 一般社団法人全国清涼飲料連合会 | 日本コーヒー飲料協会 |
| 一般社団法人全国トマト工業会 | コカ・コーラ協会 |
| 一般社団法人日本果汁協会 | ビール酒造組合 |



[編集・発行]

公益社団法人 食品容器環境美化協会 (食環協)

〒108-0023 東京都港区芝浦2-15-16 田町K・Sビル6階
TEL 03-5439-5121 FAX 03-5476-2883
URL <https://www.kankyobika.or.jp/>



植物油インクで印刷されています。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用